

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2020年												2021年													
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~3日	1月 ~10日	1月 ~17日	1月 ~24日	1月 ~31日	2月 ~7日	2月 ~14日	2月 ~21日	2月 ~28日	3月 ~7日	3月 ~14日	3月 ~21日	3月 ~28日	4月 ~4日
カンピロバクター	42	46	55	54	92	177	241	189	97	132	148	125	10	27	31	21	25	14	10	14	27	29	29	38	38 (41)	42
病原性大腸菌	22	34	39	30	24	63	60	76	52	42	41	52	2	13	7	11	6	11	6	6	2	8	10	19	14 (15)	13
腸管出血性大腸菌	1	0	0	0	1	4	0	2	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	4	1	2	4	10	7	14	29	16	10	10	3	0	1	2	2	1	2	0	0	3	1	0	1	1	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	6	20	11	3	9	15	15	20	13	17	18	12	2	1	5	2	4	6	4	4	2	6	9	11	7	8
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	11	17	8	14	14	11	17	9	10	11	9	0	4	4	2	0	4	2	2	2	2	6	4	2 (3)	4
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	1	1	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	1
ロタウイルス	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	10	14	6	1	0	0	0	2	0	0	0	1	0	3	0	1	0	0	0	1	4	1	3	1	1	4

* その他の1件はアエロモナスでした。

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和3年第13週(3月29日~4月4日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	10	結核	10	2		1				7
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1		1					
四類	0	発生なし	0							
五類	2	ウイルス性肝炎	1					1		
		梅毒	1					1		
新型インフルエンザ等感染症	75	新型コロナウイルス感染症	75	7	1	2	0	59	3	3

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

新型コロナウイルス感染症

第13週に合計59件の報告がありました。広島市では、3月下旬から新規感染者が増加しており、4月6日時点の直近1週間の新規感染者は4.6人/10万人と、広島県警戒基準値(4.0人/10万人)を超えています。

感染を拡大させないためには、基本的な感染対策を徹底するとともに、感染拡大の予兆を早期に探知し、感染者と非感染者の接触を遮断することが大切です。そのため、広島県ではPCR検査体制強化の一つとして、4月1日から薬局を活用したPCR検査を開始し、対象薬局で検査キットの受け渡しと回収ができるようになりました。



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注) 過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注) 過去5年間	発生記号
フィレン	インフルエンザ	-	-	2.89		小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.31	
小児科	咽頭結膜熱	4	0.17	0.22		眼科	RSウイルス感染症	4	0.17	0.32	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16	0.67	1.94	▲		急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	94	3.92	6.35	□	基幹	流行性角結膜炎	2	0.25	0.58	
	水痘	8	0.33	0.25			細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	-	-	0.17			無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.24			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.09	
	突発性発しん	6	0.25	0.27			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	-	-	0.04			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	1.36	

急増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	▲	▼	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	□		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
5	ウイルス性肝炎	1	2	40歳代
5	梅毒	1	11	40歳代